

環境技術実証事業 今後の方針について

1. 近年の体制推移

○平成20年度

国負担体制：閉鎖性海域における水環境改善技術分野（2年目）

手数料体制：小規模事業場向け有機性排水処理技術分野

VOC処理技術分野（中小事業所向けVOC処理技術）

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

湖沼等水質浄化技術分野

山岳トイレし尿処理技術分野

全体検討事項：新規分野の検討・実証試験要領作成

運営改善提案（ロゴマーク・HP、申請者負担軽減等）

○平成21年度

国負担体制：VOC簡易測定技術分野（1年目）

ヒートアイランド対策技術分野（オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術）地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム（1年目）

ヒートアイランド対策技術分野（オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術）IT機器等グリーン化技術（1年目）

手数料体制：小規模事業場向け有機性排水処理技術分野（小規模事業場向け有機性排水処理技術）

VOC排出抑制技術・脱臭技術分野（中小事業所向けVOC排出抑制技術・脱臭技術）

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

湖沼等水質浄化技術分野

閉鎖性海域における水環境改善技術分野

山岳トイレし尿処理技術分野

全体検討事項：ロゴマーク検討、既存データの活用方策検討（諸外国の現状含め）

○平成22年度（本年度）

国負担体制：VOC簡易測定技術分野（2年目）

ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）（2年目）

手数料体制：小規模事業場向け有機性排水処理技術分野

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

湖沼等水質浄化技術分野

閉鎖性海域における水環境改善技術分野

自然地域トイレし尿処理技術分野

全体検討事項：新規分野の拡大、手数料体制分野の強化（事業運営面の改善）

2. 今後の方針について

○平成23年度（案）

国負担体制：地球温暖化対策技術分野 照明用エネルギー低減技術（反射板・拡散板等）
（1年目）

手数料体制：小規模事業場向け有機性排水処理技術分野

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減技術）

ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）

湖沼等水質浄化技術分野

閉鎖性海域における水環境改善技術分野

自然地域トイレし尿処理技術分野

VOC簡易測定技術分野

※実証運営機関については、実施要領に基づき民間も含めて公募・選定する。
（別紙フロー図参照）

全体検討事項：以下の事項から本日のご議論を踏まえ検討

○対象技術分野の拡大について

- ・地球温暖化対策技術分野 照明用エネルギー低減技術（反射板・拡散板等）

○実証のメリットを高める方策について

- ・広報効果、知名度向上に向けて
 - ロゴマークについて
 - ・デザイン
 - ・表示方法
 - 展示会等への出展について

実施要領に基づく実証運営機関の公募・選定フロー

